



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月8日

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社
 コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佃 維男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員 (氏名) 中野 守康

TEL 088-845-5511

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,491	12.5	584	30.4	598	30.1	409	30.1
29年3月期第2四半期	4,879	8.8	448	14.5	459	14.2	314	21.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	73.68	
29年3月期第2四半期	56.63	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,810	4,667	53.0
29年3月期	8,503	4,468	52.6

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 4,667百万円 29年3月期 4,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		38.00	38.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				34.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当26円00銭
 平成30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当22円00銭

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.2	820	2.8	840	3.0	580	5.8	104.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期業績予想を据え置きとした理由につきましては、添付資料2ページをご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	5,564,000 株	29年3月期	5,564,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	5,214 株	29年3月期	5,214 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	5,558,786 株	29年3月期2Q	5,558,786 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 設備投資に関する説明	P. 2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
3. その他	P. 8
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、好調な米国経済を背景に輸出が持ち直し、企業活動は回復が続きました。一方、家計部門でも、夏場の天候不順による一時的な影響はあったものの、緩やかな回復基調にあり、全体として、底堅い内外需を背景に景気は回復基調が続いております。

当第2四半期累計期間は、総じて堅調な需要を背景に、活発な生産活動を維持いたしました。

シャーシモデルの一斉変更前の駆け込み需要もあり、先行製作車の販売を中心に売上は順調に推移し、その結果、前第2四半期累計期間に比べ増収・増益となりました。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は286百万円減の4,966百万円(前年同四半期比5.5%減)、売上高は611百万円増の5,491百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。損益につきましては、営業利益は136百万円増の584百万円(前年同四半期比30.4%増)、経常利益は138百万円増の598百万円(前年同四半期比30.1%増)、四半期純利益は94百万円増の409百万円(前年同四半期比30.1%増)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ307百万円増加し、8,810百万円となりました。これは主に、売上債権の減少395百万円等はありませんでしたが、現金及び預金の増加465百万円、たな卸資産の増加107百万円、建物の増加12百万円、土地の増加64百万円及び出資金の増加25百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ108百万円増加し、4,142百万円となりました。これは主に、前受金の減少91百万円及び未払消費税等の減少40百万円等はありませんでしたが、仕入債務の増加219百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ199百万円増加し、4,667百万円となりました。これは主に、剰余金の配当211百万円はありませんでしたが、四半期純利益の計上409百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、833百万円(前年同四半期比72.1%増)となりました。これは主に、法人税等の支払額125百万円、たな卸資産の増加107百万円及び前受金の減少91百万円等はありませんでしたが、税引前四半期純利益の計上598百万円、売上債権の減少396百万円及び仕入債務の増加217百万円等によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、459百万円(前年同四半期比222.5%増)となりました。これは主に、定期預金の純増加額300百万円及び固定資産の取得による支出135百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ27百万円増加し、207百万円(前年同四半期比15.4%増)となりました。これは、配当金の支払いによるものであります。

従いまして、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、前事業年度末残高に比べ167百万円増加し、1,410百万円(前期比13.4%増)となりました。

(3) 設備投資に関する説明

当第2四半期累計期間における土地及び建物の増加は、主に明見工場に隣接する他社工場跡地を購入したものであります。

上記、土地及び建物は改修の上、「eセンター」と命名し、生産環境の充実に寄与する設備として平成29年11月の稼働を予定しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日付の「平成29年3月期決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想を据え置いております。

平成29年8月4日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました通り、シャーシの一斉モデルチェンジに伴い、新型シャーシの当社への搬入時期に、未だ不確定な部分があります。

シャーシ搬入時期を見定めた上で正式発注したいお客様の声もあり、当第2四半期末における受注残高は、前年同四半期末残高を下回る結果となっております。引き続き商談は活発に行われておりますが、第3四半期の生産への影響に不確定要素があることから、通期業績予想を据え置くことといたしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,194,250	2,659,994
受取手形及び売掛金	2,740,772	2,345,020
商品及び製品	200,688	303,173
仕掛品	791,463	776,471
原材料及び貯蔵品	242,738	262,338
繰延税金資産	135,169	146,337
その他	21,561	28,876
貸倒引当金	△1,370	△1,172
流動資産合計	6,325,274	6,521,040
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	478,343	490,973
土地	1,254,363	1,318,496
その他(純額)	193,894	215,236
有形固定資産合計	1,926,601	2,024,706
無形固定資産	52,600	41,389
投資その他の資産		
繰延税金資産	75,743	74,661
その他	126,577	152,053
貸倒引当金	△3,721	△3,221
投資その他の資産合計	198,599	223,493
固定資産合計	2,177,801	2,289,590
資産合計	8,503,076	8,810,630

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,912,635	3,132,304
未払法人税等	146,519	214,893
賞与引当金	265,000	300,000
役員賞与引当金	60,200	4,735
製品保証引当金	62,000	51,100
その他	395,406	232,515
流動負債合計	3,841,760	3,935,548
固定負債		
退職給付引当金	183,298	197,718
その他	9,470	9,470
固定負債合計	192,768	207,188
負債合計	4,034,529	4,142,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	3,793,414	3,991,744
自己株式	△1,828	△1,828
株主資本合計	4,461,306	4,659,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,240	8,256
評価・換算差額等合計	7,240	8,256
純資産合計	4,468,547	4,667,893
負債純資産合計	8,503,076	8,810,630

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,879,404	5,491,113
売上原価	3,638,092	4,121,707
売上総利益	1,241,312	1,369,405
販売費及び一般管理費	793,127	784,995
営業利益	448,184	584,409
営業外収益		
受取利息	30	14
受取賃貸料	8,790	9,102
その他	2,858	5,015
営業外収益合計	11,679	14,132
営業外費用		
為替差損	—	102
その他	23	51
営業外費用合計	23	154
経常利益	459,840	598,388
特別利益		
固定資産売却益	18	46
特別利益合計	18	46
特別損失		
固定資産売却損	18	—
固定資産除却損	68	181
特別損失合計	86	181
税引前四半期純利益	459,772	598,252
法人税、住民税及び事業税	139,955	198,763
法人税等調整額	5,012	△10,074
法人税等合計	144,967	188,689
四半期純利益	314,804	409,563

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	459,772	598,252
減価償却費	67,446	63,049
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,165	△697
賞与引当金の増減額(△は減少)	81,280	35,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△66,025	△55,465
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,000	△10,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,952	14,420
受取利息及び受取配当金	△563	△547
売上債権の増減額(△は増加)	195,044	396,251
たな卸資産の増減額(△は増加)	△228,390	△107,092
仕入債務の増減額(△は減少)	197,525	217,354
その他	△82,457	△191,121
小計	633,419	958,505
利息及び配当金の受取額	563	547
法人税等の支払額	△149,589	△125,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,393	833,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△140,964	△135,161
無形固定資産の取得による支出	△2,980	△783
出資金の払込による支出	—	△25,250
その他	1,429	1,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,516	△459,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△179,517	△207,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,517	△207,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	162,359	167,031
現金及び現金同等物の期首残高	917,300	1,243,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,079,659	1,410,342

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載しておりません。

当第2四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,953,603	+25.1
高压洗浄車	748,198	△14.5
粉粒体吸引・圧送車	22,008	△85.8
部品売上	428,679	+5.3
その他	306,305	+8.4
合計	5,458,796	+11.9

(注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,276,632	△7.4	2,916,356	△14.7
高压洗浄車	847,014	+10.0	680,464	+14.2
粉粒体吸引・圧送車	140,800	—	140,800	+34.3
部品売上	428,679	+5.3	—	—
その他	273,443	△49.1	228,111	△53.4
合計	4,966,570	△5.5	3,965,732	△14.0

(注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	3,912,365	+22.8
高压洗浄車	771,125	△18.2
粉粒体吸引・圧送車	42,000	△63.0
部品売上	428,679	+5.3
その他	336,942	+47.2
合計	5,491,113	+12.5

(注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。